

平成 26 年度 事業報告

I. 各事業の活動

1. 総務

(1) 会員の状況

平成 27 年 3 月 31 日現在

		普通会員	特別会員	賛助会員	計
平成 25 年度末会員		12,611 名	2,275 名	68 名	14,954 名
平成 26 年度	新 入 会 員	571 名	158 名	3 名	732 名
	退 会 者 (含 逝 去)	1,304 名	125 名	4 名	1,433 名
差 引 計 (平成 26 年度末会員)		11,878 名	2,308 名	67 名	14,253 名

- (2) 第 54 全国大会開催 (6 月 21 日 (日) 岩手 参加者 450 名)
- (3) 公益社団法人第 3 回総会開催 (6 月 21 日 岩手) 支部総会 (45 支部)
- (4) 東日本大震災 被災地支援 (岩手にて全国大会開催)
- (5) 公開講演会 (6 月 21 日全国大会 全支部 115 回)
- (6) 理事会開催 (5 回) 理事各事業委員会 (36 回)
支部委員会 (427 回)
- (7) 役員選考委員会 (7 月 15 日 2015 年 2 月 17 日)
- (8) 支部長会開催 (10 月 6・7 日 40 支部 理事 13 名 監事 1 名)
- (9) 新支部長研修 (7 月 30・31 日 2 支部 総務 4 名)
- (10) 支部との連絡 (「友の会だより」の発行 12 回)
- (11) 支部運営に関する相談支援
 - ・沖縄支部再発足に向けて 講演会・話し合い (2015 年 1 月 30 日 総務 4 名)
準備委員会 (3 月 19 日 総務 3 名)
 - ・島根支部委員会 支部継続について (4 月 1 日 総務 2 名)
 - ・新潟支部委員会 支部継続について (9 月 6 日 総務 3 名)
- (12) 新入会員に「定款」「リウマチ手帳」『2010 年リウマチ白書』配布
- (13) 会員との連絡
- (14) ホームページ運用

(15) 関係団体との協働

- ・日本リウマチ学会 (JCR2014 4 月 24～26 日 市民公開講座 27 日「日常生活について」会長)
- ・臨床リウマチ学会「リウマチ患者の療養環境における医療連携の重要性」(会長)
- ・第 19 回リウマチフォーラム「日本リウマチ友の会の活動について」(会長)
- ・日本リウマチ財団 リウマチ月間リウマチ講演会 (6 月 8 日 会長・理事・事務局長他)
福祉賞 (野口祐子会員)
評議員会 (4 回 会長)
- ・障害者団体連絡協議会「障害者の高齢化に関する課題」検討委員会 (会長)
- ・日本障害者協議会
- ・かわさき基準推進協議会
委員会 (会長) 企画委員会 (理事 1 名)
モニター協力 (スプーン タオルしぼり 5 名)
- ・患者の声協議会
「医療基本法制度」に向けて働きかけ
- ・共用品推進機構 評議員会 (2 回) 他
「コンビニエンスストアに関する良かったこと調査」アンケート (40 名)
- ・障害者の差別の禁止・解消を推進する全国ネットワーク
- ・全国難病センター研究会 (11 月 9 日 会長)
難病・慢性疾患フォーラム (11 月 8 日 会長・理事 1 名)
- ・地域難病団体等加盟 (32 支部)
- ・ヘルスケア関連団体 (6 支部)
- ・大学 環境ライフデザイン学科講師 (4 月 20 日・5 月 20 日 会長)
- ・大学 看護学科講師 (会長)
- ・大学薬学部生涯学習講師 (会長)
- ・社員研修 (製薬企業等 5 件) (会長)
- ・5 か国 RA 患者調査に関するアドバイザー (会長)
- ・アンケート協力
 - ・薬品包装等商品開発モニター (会員 6 名)
 - ・作業療法士卒業研究「食事動作と自助具の適合～関節リウマチを通して～」アンケート (会員 100 名)

(16) 協和監査法人 高山昌茂公認会計士と公益法人会計について相談・指導	
(17) その他	
(18) 援助金（敬称略）	
（公益財）日本リウマチ財団	1,000,000 円
静岡県	944,000 円
石川県	250,000 円
新潟県	243,198 円
埼玉県	160,000 円
福島県	129,000 円
富山市	160,000 円
松山市	124,000 円
福岡県共同募金会	400,000 円
富山県共同募金会	300,000 円
兵庫県共同募金会	230,000 円
茨城県共同募金会	200,000 円
鹿児島県共同募金会	200,000 円
大分県共同募金会	180,000 円
秋田県共同募金会	168,000 円
三重県共同募金会	156,000 円
岡山県共同募金会	100,000 円
北海道難病連	809,223 円
岐阜県難病団体連絡協議会	457,400 円
栃木県難病団体連絡協議会	222,500 円
群馬県難病団体連絡協議会	183,930 円
愛媛県難病等患者団体連絡協議会	150,000 円
（財）岩手県福祉基金	240,000 円
鹿児島県身体障害者福祉協会	155,000 円
宮崎県社会福祉協議会	150,000 円
福井県まごころ基金助成事業	130,000 円
茨城新聞社	100,000 円
その他の援助金	1,595,754 円
総 計	9,138,005 円

(19) 寄付金（敬称略）	
故谷口民子会員	1,000,000 円
松田まさ子会員ご遺族	1,000,000 円
金村スミ子会員ご遺族	1,000,000 円
匿名	1,000,000 円
大澤眞助会員ご遺族	500,000 円
中外製薬(株)	300,000 円
参天製薬(株)（５５周年記念事業）	300,000 円
磯内ミヨ子	210,000 円
岩田久	200,000 円
アッヴィ合同会社（５５周年記念事業）	200,000 円
旭化成ファーマ(株)（５５周年記念事業）	200,000 円
東広島記念病院山名会	200,000 円
匿名	200,000 円
大聖寺索の会	168,000 円
平越三佐緒	150,000 円
坂田研明	120,000 円
匿名	100,000 円
宮間久子	100,000 円
岡本幸子会員ご遺族	100,000 円
リウマチ関連疾患研究会	100,000 円
その他の方々	3,617,653 円
総 計	10,765,653 円

2. 出版事業

- (1) 『流』の発行
- 303 号 第 54 回全国大会の案内
- 304 号 リウマチ手帳
- 305 号 創立 50 周年記念「日本リウマチ友の会のあゆみ」
- 306 号 第 3 回総会議案書
- 307 号 創立 55 周年記念リウマチ患者の実態調査表

- 308号 第54回全国大会報告
リウマチ治療の現在 未来
- 309号 シェーグレン症候群
- 310号 第55回全国大会のお知らせ
リウマチと皮膚症状
- 311号 特別会員名簿

- (2) 支部報の発行 (111回)
- (3) その他

3. 社会活動事業

- (1) 内閣府・厚生労働省等への働きかけ

- 大会決議「リウマチ患者の願い」6月21日 厚生労働大臣へ提出
 - ・医療費の負担減要望
リウマチ・アレルギーシンポジウム「リウマチ診療はここまで進歩した」(会長)
 - ・医療連携の推進
臨床リウマチ学会「リウマチ患者の療養環境における医療連携の重要性」(11月29日 会長)
 - 患者の声協議会シンポジウム「医療連携について」(会長)
 - ・リハビリテーションの充実
 - ・厚労省リウマチ・アレルギー相談員養成研修会(5回 東京・北海道・大阪・福岡・名古屋)(会長)
 - ・介護保険制度充実
 - ・障害者総合支援法の充実
プレスセミナー「働き世代の関節リウマチと労働生産性」(9月2日 会長)
 - ・医療基本法制定への働きかけ
医療基本法制定について要望(3団体共働)
シンポジウム「医療基本法制定」(会長)
- (2) 支部を中心とする地方自治体への働きかけ
 - ・都道府県・政令市等への要望書提出(46回)

- 大学病院を含む中核病院にリウマチ科の設置及び専門医の派遣要望
- ・ヘルパー研修、ケアマネージャー研修、看護・福祉教育の場で「リウマチ」患者の立場で講演(31回)
- ・「2010年リウマチ白書」を基に患者の実態理解を医療・保健福祉の場へ働きかける(ヘルパー研修、行政担当職研修等)
- ・地域保健福祉計画への参加

- (3) 啓発活動

- ・資料配布
リウマチグリーンバッジ・ポスター・チラシ・入会案内・『2010年リウマチ白書』等配布、写真展パネル「リウマチからの解放を願って」展示(47回)
日本リウマチ学会・日本リウマチ財団・関係機関等との協力による啓発
- ・川越市民公開講座(9月7日 会長)
- ・相模原市民公開講座(9月14日 会長 理事1名 事務局長他)
- ・マスコミなどによるリウマチの啓発
読売新聞社市民公開講座「リウマチ治療の未来予想図」(3月15日 会長)
NHK Eテレ 資料提供他
産経新聞「負けないで」取材掲載(会員)
- ・JPPaC 設立記念シンポジウム「患者中心の医療」(3月13日 会長)
- ・関節リウマチ患者団体調査アドバイザー協力(会長)

- (4) 国際交流の推進

- (5) 特別会員への加入依頼(新入会158名)

- (6) その他

4. 自助具・図書事業

- (1) 日常生活のためのユニバーサルデザイン用品の紹介『流』等
- (2) 自助具の研究・開発への協力
 - ・かわさき基準推進協議会：スプーン タオルしぼり(会員5名)
 - ・ノーマライゼーション「工夫のいろいろ：エンジョイライフ」執筆(会員1名)
- (3) 「展示用自助具」の展示(56回)
- (4) 既刊『流』『リウマチ手帳』等の頒布

- (5) 「リウマチ体操」DVD 配布
- (6) その他

5. 相談事業

- (1) 療養医療講演会・相談会の実施
 - ・公開講演会（116 回）
- (2) 医療相談事業の実施
 - ・専門医による電話医療相談（12 回）
- (3) 電話等による療養生活相談（8,455 件）
- (4) その他

6. 支部活動助成事業

- (1) 支部運営費（45 支部）・支部活動費助成（39 支部）、周年支部助成（10 支部）
- (2) 支部運営説明会へ支部代表参加助成（6 月 20 日 岩手）
- (3) 支部長会（10 月 6・7 日）・新支部長研修（7 月 30・31 日）参加助成（2 支部
支部長 会計）
- (4) 療養医療講演会・相談会（全国 115 回）・写真展（40 回）・自助具展（56 回）
への助成
- (5) 支部活動支援
 - ・「友の会だより」の発行（12 回）等
 - ・沖縄支部再発足に向けて講演会・話合い（1 月 30 日 総務 4 名）
再発足準備委員会（3 月 19 日 総務 3 名）
 - ・島根支部委員会 支部継続について（4 月 1 日 総務 2 名）
 - ・新潟支部委員会 支部継続について（9 月 6 日 総務 3 名）
- (6) ホームページの運用
 - ・本部ホームページへの支部公開講演会等の掲載
- (7) 『流』他資料・寄贈品の配布
- (8) その他

Ⅱ 創立 50 周年記念事業

- (1) 「日本リウマチ友の会のあゆみ」発行（2014 年 4 月『流』305 号）

Ⅲ 創立 55 周年記念事業

- (1) 実態調査実施（2014 年 6 月）
- (2) 実態調査委員会（26 回）
『2015 年リウマチ白書』発行準備
- (3) 創立 55 周年記念大会準備（ホテルメトロポリタン長野）